

みやぎみんな友達プロジェクト

～生まれ！みやぎの子ども達～

登米市立佐沼小学校 教諭 小松 英明

hideaki@hide-family.net

URL <http://e-net.edu-c.pref.miyagi.jp/portal/miyagi-it/project01/>

キーワード：IT教育、ポータルサイト、交流学习

1. 交流推進プロジェクトの概要

1. 1 プロジェクトの趣旨

学校種を超えて、地域や身近な人々との広域的なパートナーシップを培う。これらの人々と連携して共に学ぶ環境を構築し、広がりのある交流学习を展開する。

1. 2 プロジェクト内容

- (1) みやぎIT教育ポータルサイト構築と運用
- (2) <みやぎ学びの情報局> 「みやぎみんな友達プロジェクト」
- (3) 初等理科実験コンテンツ作成プロジェクト

2. みやぎの教育を支えるWebサイト「みやぎIT教育ポータルサイト」の構築と運用

2. 1 基本コンセプト

「交流」「共有」「活用」「協働」

このポータルサイトで、みやぎの先生方や子ども達が常に集い合い（**交流**）、互いに情報を「**共有**」します。

共有された優れたコンテンツは、児童生徒及び教職員が学習や校務の中で効果的に「**活用**」することができるものにしていきます。

これら全ての活動は常にみやぎの先生方が「**協働**」で行うことによってなされるものと考えます。

このような活動を通して、全ての教員が共に関わり合いながら、自らの指導力の向上を図ると共に、児童生徒の確かな

学力の育成に寄与すると考えています。

みやぎの先生方、ここに集いあい、ともに「確かな学力」を身につけたみやぎの子ども達を育成しましょう。

2. 2 基本構造

(1) Teacher's Room

- ・新教育情報
- ・新実践事例集
- ・教育情報データベース
- ・情報モラル指導資料集
- ・リンク集
- ・コンテンツ集
- ・教育用教材集

(2) Kid's Room

- ・学習を始める前に
- ・調べよう
- ・使おう
- ・まとめよう
- ・発信しよう
- ・交流しよう

(3) Teen's Room

- ・リンク集
- ・コンテンツ集
- ・モラルを学習しよう
- ・教えてWebTeacher

(4) MIYAGI IT

みやぎIT教育推進事業の概要

(5) その他

- ① こんな実践あんな実践
- ② 情報教育だより
- ③ 交流掲示板



3. みやぎみんな友達プロジェクト

3.1 ねらい

- (1) 私たちの住んでいる県みやぎに焦点を当て、広くみやぎの子供たちが集い、みやぎについて交流学習を行う。
- (2) 自分たちの住んでいる地域（町、県等）に目を向け、調べる活動を通して、みやぎの良さを感じ、郷土みやぎを愛する気持ちを養う。
- (3) 自分たちの住んでいる地域（町、県等）に目を向け、調べる活動を通して、みやぎの良さを感じ、郷土みやぎを愛する気持ちを養う。
- (4) 他地域の子供たちと伝え合い、学び合う活動を通して、コミュニケーション能力を培う。
- (5) みやぎの先生と子ども達のネットワークを構築する。

3.2 プロジェクトの概要

(1) 「みんなのプロジェクト」

- ・参加校全員が、共通テーマのもとに取り組む学習形態
- ・各教科・領域のねらいに合致し、児童生徒の表現力育成を目指す
(例) 学校ポスターコンクール（図工・美術）マイポエム（国語）



(2) 「スモールプロジェクト」

- ・同一テーマを持ったクラス同士が小グループを形成して学習する形態
- ・各教科・領域の学習をベースにし、他校との交流を通して学習を深め、広げることができる。
(例) 私たちの県（社会科）、商農連携ビジネス（高校商業科・農業科）、川プロジェクト（総合学習）

(3) 交流方法

- ・みやぎみんな友達プロジェクト支援サイト <http://midori.edu-c.pref.miyagi.jp/tomodachi/>
参加校の教師及び児童生徒が、互いに集い合い情報交換のできるコミュニティサイトの活用。

3.3 プロジェクトの実際

(1) 2004年度の取り組み

① 「みんなのプロジェクト」

- リーダー 登米市立北方小 教諭 皆川寛
- 参加児童数：17校 29クラス 658名参加
 - ・「みんなで作ろう 学校ポスターコンクール」
 - ・「年賀状コンクール」

② 「スモールプロジェクト」

- ・「集まれ！みやぎの伝統工芸リポーター」
- ・「みやぎ☆わくわく情報局」
- ・「けやきミュージアム☆みんなの作品展を作ろう」



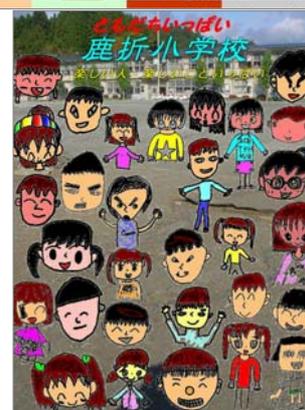
(2) 2005年度の取り組み

① 「みんなのプロジェクト」

- リーダー 登米市立佐沼小 教諭 小松 英明
- 参加児童数：26校 40クラス 参加
 - ・「わたしのお気に入り」
 - ・「学校ポスターコンクール」

② 「スモールプロジェクト」

- ・「わたしたちの県」
- ・「商農連携」



(3) 成果・課題

- 他の学校を意識した相手のある学習ができ、学習に広がりをもてた。
- 広く県内の先生に「学校間交流学習」を認知させることができた。
- 交流掲示板やメーリングリストを通して、県内の先生方のネットワークが広がった。
- 各教科と連携し、ねらいや培いたい力等を明確に出した学習計画の作成
- 教師の豊かな発想を生かした、宮城ならではの交流学習の構築
- 教師同士がつながり合って学習を作っていくという教師の意識改革
- 「交流学習支援サイト」の活用促進